



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-5862-7	版	3.00
発行日	2024/08/06	前発行日	2021/09/02

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM スコッチコートTM 部分補修塗料 323+ ブラシグレード キット

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

本製品は個々に包装された複数の構成部品からなるキット製品である。SDSには個々の構成部品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

33-7367-7, 33-7858-5

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、毒劇物取締法等の法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	33-7858-5	版	3.00
発行日	2024/08/06	前発行日	2023/02/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM スコッチコートTM 部分補修塗料 323+ ブラシグレード パート B

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

コーティング

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性（経口）： 区分4
急性毒性（吸入）： 区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1
皮膚腐食性/刺激性： 区分1B
皮膚感作性： 区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分1
水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 感嘆符 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H302	飲み込むと有害
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H332	吸入すると有害
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 呼吸器
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
H401	水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391	漏出物を回収すること。

保管P403 + P233
P405換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。**廃棄**

P501

内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。 熱傷を起こすことがある。
胃腸への腐食のおそれ。**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
霞石閃長岩	37244-96-5	30 - 50
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	21
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体	133548-08-0	5 - 20
m-キシレン- α , α' -ジアミン	1477-55-0	14
タルク	14807-96-6	5 - 10
トリメチルヘキサメチレンジアミン	25620-58-0	1 - 10
(トリメトキシシリプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	1 - 5
アミド/ポリマーハイブリッド	営業秘密	0.5 - 1.5
ピグメントグリーン7	1328-53-6	0.80
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	0.76
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	< 0.5
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	0.25

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の冷水で15分間以上皮膚を洗浄する。付着した溶解物を無理に剥がそうとしてはいけない。患部を清潔な布で覆い、直ちに医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに大量の水で、少なくとも15分間眼を洗う。溶解した物質を除去してはいけない。すぐに医学的注意を手に入れる。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嘔声、鼻や喉の痛み）。皮膚の熱傷（局所的な発赤、腫れ、かゆみ、激しい痛み、水疱、組織破壊）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
窒素酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶

剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。

保管

換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
銅化合物	1328-53-6	ACGIH	TWA (Cuヒュームとして): 0.2 mg/m ³ ; TWA (Cuダストないしミストとして): 1 mg/m ³	
m-キシレン- α , α' -ジアミン	1477-55-0	ACGIH	CEIL: 0.018 ppm	皮膚吸収の危険性。
m-キシレン- α , α' -ジアミン	1477-55-0	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性
不活性あるいは有害なダスト	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間): 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間): 1mg/m ³	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 2 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (推奨) (8時間): 4 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	64741-89-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。熱処理オーブンの排気は屋外又は排気設備に放出すること。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ブチルゴム製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

熱危険性

やけどを防ぐため、高温の本製品を取り扱う際は、耐熱手袋、間接式換気ゴーグル、及び全面マスクを着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	緑色
臭い	強アミン臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 93.3 °C
引火点	> 93.3 °C [試験方法：ペンスキーマルテン密閉式]
蒸発速度	< 1 [参照基準：酢酸ブチル=1]

引火性	適用しない
燃焼点（下限）	1 容量%
燃焼点（上限）	7 容量%
蒸気圧	6.7 Pa [試験方法：計算値] [詳細：25℃。ラウールの法則による。]
蒸気密度/相対蒸気密度	> 1 [参照基準：空気 = 1]
密度	1.4 kg/l
比重	1.44 [参照基準：水=1]
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	13,889 mm ² /sec
揮発性有機化合物	0 g/l [試験方法：EPA試験方法 2 4 による] [詳細：Part AとPart Bの混合物として]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS-GHSの要求項目ではない）	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

強酸化性物質

還元剤

危険有害な分解物

物質

アンモニア

条件

保管中

セクション 5 の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

吸入すると有害 気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触すると有害のおそれ。 皮膚の熱傷（加熱中）： 予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。 皮膚薬傷（化学性腐食）： 発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、瘢痕形成などの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

眼の熱傷（加熱中）： 予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。 化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合

飲み込むと有害 胃腸への腐食作用： 口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

皮膚への影響： 色素沈着ないし変色などの症状。 吸入作用： 症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。 頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

追加情報

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
製品全体	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >1 - =5 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
霞石閃長岩	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
霞石閃長岩	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
p-tert-ブチルフェノール	皮膚	ウサギ	LD50 2,318 mg/kg
p-tert-ブチルフェノール	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.6 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	ラット	LD50 4,000 mg/kg
m-キシレン- α , α' -ジアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
m-キシレン- α , α' -ジアミン	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 1.2 mg/l
m-キシレン- α , α' -ジアミン	経口摂取	ラット	LD50 980 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
トリメチルヘキサメチレンジアミン	経口摂取	ラット	LD50 910 mg/kg
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 >1.49, <2.44 mg/l
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	ラット	LD50 1,897 mg/kg
ピグメントグリーン7	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ピグメントグリーン7	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油精製軽質パラフィン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
石油精製軽質パラフィン	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 4 mg/l
石油精製軽質パラフィン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 >1.49, <2.44 mg/L mg/l
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	経口摂取	ラット	LD50 1,897 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
霞石閃長岩	専門家による判断	刺激性なし
p-tert-ブチルフェノール	ウサギ	刺激物
m-キシレン- α , α' -ジアミン	ラット	腐食性
タルク	ウサギ	刺激性なし

トリメチルヘキサメチレンジアミン	入手できない	腐食性
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	ウサギ	軽度の刺激
ピグメントグリーン7	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
石油精製軽質パラフィン	ウサギ	わずかな刺激
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	ウサギ	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
霞石閃長岩	専門家による判断	軽度の刺激
p-tert-ブチルフェノール	ウサギ	腐食性
m-キシレン- α , α' -ジアミン	ウサギ	腐食性
タルク	ウサギ	刺激性なし
トリメチルヘキサメチレンジアミン	ウサギ	腐食性
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	ウサギ	腐食性
ピグメントグリーン7	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
石油精製軽質パラフィン	ウサギ	刺激性なし
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
p-tert-ブチルフェノール	ヒト及び動物	区分に該当しない。
m-キシレン- α , α' -ジアミン	モルモット	感作性あり
トリメチルヘキサメチレンジアミン	モルモット	感作性あり
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	多種類の動物種	感作性あり
アミド/ポリマーハイブリッド	マウス	区分に該当しない。
ピグメントグリーン7	モルモット	区分に該当しない。
ホワイトミネラルオイル (石油)	モルモット	区分に該当しない。
石油精製軽質パラフィン	モルモット	区分に該当しない。
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	多種類の動物種	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
p-tert-ブチルフェノール	In vitro	変異原性なし

m-キシレン- α , α' -ジアミン	In vitro	変異原性なし
m-キシレン- α , α' -ジアミン	In vivo	変異原性なし
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
トリメチルヘキサメチレンジアミン	In vivo	変異原性なし
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	In vitro	変異原性なし
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	In vivo	変異原性なし
ピグメントグリーン7	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル (石油)	In vitro	変異原性なし
石油精製軽質パラフィン	In vivo	変異原性なし
石油精製軽質パラフィン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
石油精製軽質パラフィン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	2 世代
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 70 mg/kg/日	2 世代
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	2 世代
m-キシレン- α , α' -ジアミン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/日	1 世代
m-キシレン- α , α' -ジアミン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg	1 世代
m-キシレン- α , α' -ジアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/日	1 世代
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
トリメチルヘキサメチレンジアミン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/日	2 世代
トリメチルヘキサメチレンジアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/日	2 世代
トリメチルヘキサメチレンジアミン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/日	2 世代
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	28 日
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	妊娠期間中
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週

ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
p-tert-ブチルフェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ラット	LOAEL 5.6 mg/l	4 時間
m-キシレン- α , α' -ジアミン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	入手できない	NOAEL 適用しない	
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
N,N'-ビス[3-（トリメトキシシリル）プロピル]エタン-1,2-ジアミン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	内分泌系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	2 世代
p-tert-ブチルフェノール	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg	6 週
m-キシレン- α , α' -ジアミン	経口摂取	内分泌系 血液 骨髄	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	28 日
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m ³	113 週
トリメチルヘキサメチレンジアミン	経口摂取	造血器系 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 180 mg/kg/day	13 週
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	皮膚	皮膚 内分泌系 造血器系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,545 mg/kg/day	11 日
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.015 mg/l	90 日
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	吸入した場合	造血器系 眼 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.044 mg/l	90 日
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	経口摂取	造血器系 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	28 日
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	肝臓 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
石油精製軽質パラフィン	皮膚	造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	3 週
N,N'-ビス[3-（トリメトキシシリル）プロピル]エタン-1,2-ジアミン	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.015 mg/l	90 日

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
----	---------

ホワイトミネラルオイル（石油）	誤えん有害性
石油精製軽質パラフィン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分1：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
霞石閃長岩	37244-96-5	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体	133548-08-0	液状化	推定値	3 時間	EC50	66 mg/l
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体	133548-08-0	緑藻類	実験	72 時間	EL50	0.179 mg/l
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-	133548-08-0	ニジマス	実験	96 時間	LL50	7.9 mg/l

ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体						
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体	133548-08-0	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	8.98 mg/l
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体	133548-08-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	0.01 mg/l
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
トリメチルヘキサメチレンジアミン	25620-58-0	バクテリア	実験	17 時間	EC50	>10,000 mg/l
トリメチルヘキサメチレンジアミン	25620-58-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	29.5 mg/l
トリメチルヘキサメチレンジアミン	25620-58-0	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	31.5 mg/l
トリメチルヘキサメチレンジアミン	25620-58-0	緑藻類	実験	72 時間	EC10	16.3 mg/l
(トリメトキシシリルプロピル)エチレンジアミン	1760-24-3	バクテリア	実験	16 時間	EC50	67 mg/l
(トリメトキシシリルプロピル)エチレンジアミン	1760-24-3	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	168 mg/l
(トリメトキシシリルプロピル)エチレ	1760-24-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	8.8 mg/l

ンジアミン						
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	81 mg/l
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	3.1 mg/l
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	ファットヘッドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LC50	168 mg/l
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	8.8 mg/l
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	81 mg/l
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	3.1 mg/l
ピグメントグリーン 7	1328-53-6	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	ErC50	>100 mg/l
ピグメントグリーン 7	1328-53-6	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ピグメントグリーン 7	1328-53-6	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	ErC10	>100 mg/l
ピグメントグリーン 7	1328-53-6	ミジンコ	実験	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>=100 mg/l
ピグメントグリーン 7	1328-53-6	バクテリア	実験	30 分	EC10	>10,000 mg/l

ピグメントグリーン7	1328-53-6	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>1,000 mg/kg (乾燥重量)
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	バクテリア	実験	16 時間	EC10	24 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	28 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	87.6 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	15.2 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	9.8 mg/l
m-キシレン- α, α' -ジアミン	1477-55-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	4.7 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	繊毛原生動物	実験	60 時間	IC50	18.4 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	14 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	無脊椎動物	実験	96 時間	LC50	1.9 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	メダカ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.9 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	128 日	NOEC	0.01 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.32 mg/l
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.73 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EL50	>100 mg/l
ホワイトミネ	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l

ラルオイル (石油)						
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
霞石閃長岩	37244-96-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
1,3-ベンゼンジメタンアミン、4-(1,1-ジメチルエチル)フェノールとホルムアルデヒドの共重合体	133548-08-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301F
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリメチルヘキサメチレンジアミン	25620-58-0	実験 生分解性	21 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	37 DOC除去%(10-day windowの基準を満たさない)	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング試験
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	39 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die-Away試験
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	1.5 分 (t _{1/2})	
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	推定値 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	39 DOC除去%	
N,N'-ビス[3-(トリメトキシシリル)プロピル]エタン-1,2-ジアミン	68845-16-9	推定値 加水分解		加水分解性半減期	1.5 分 (t _{1/2})	
ピグメントグリーン 7	1328-53-6	類似コンパウンド 生分解	28 日	生物学的酸素要求量	<1 %BOD/ThOD	OECD 301F

		性				
石油精製軽質 パラフィン	64741-89-5	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	22 C02発生量 /理論C02発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
m-キシレン- α , α' -ジア ミン	1477-55-0	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	49 C02発生量 /理論C02発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
m-キシレン- α , α' -ジア ミン	1477-55-0	実験 水生固 有生分解性	28 日	生物学的酸素 要求量	22 %BOD/ThOD	OECD 302C MITI変法 (II)
p-tert-ブチ ルフェノール	98-54-4	実験 生分解 性	28 日	DOC (溶存有 機炭素) 残留 量	98 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die- Away試験
ホワイトミネ ラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	0 C02発生量/ 理論C02発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
霞石閃長岩	37244-96-5	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
1,3-ベンゼン ジメタンアミ ン、4-(1,1- ジメチルエチ ル)フェノー ルとホルムア ルデヒドの共 重合体	133548-08-0	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	<3.3	
タルク	14807-96-6	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリメチルヘ キサメチレン ジアミン	25620-58-0	類似コンパウ ンド 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	0.7	OECD107 log Kow フ ラスコ振騰法
(トリメトキ シシリルプロ ピル) エチレ ンジアミン	1760-24-3	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
N,N'-ビス[3- (トリメトキ シシリル)プ	68845-16-9	推定値 生態 濃縮		オクタノール /水 分配係 数	-3.4	

ロピル]エタン-1,2-ジアミン						
ピグメントグリーン7	1328-53-6	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	≤74	OECD305-生体濃縮度試験
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
m-キシレン-α, α'-ジアミン	1477-55-0	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<2.7	OECD305-生体濃縮度試験
m-キシレン-α, α'-ジアミン	1477-55-0	外挿 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.18	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	88	OECD305-生体濃縮度試験
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 2 7 3 5 アミン類又はポリアミン類 (液体) (腐食性のもの)

輸送分類 (IMO) : 8 腐食性物質

輸送分類 (IATA) : 8 腐食性物質

容器等級：II

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、毒劇物取締法等の法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

毒物及び劇物取締法：劇物

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号

消防法：第四類第三石油類

海洋汚染防止法：環境有害物質

化管法：第 2 種指定化学物質

船舶安全法、航空法：腐しよく性物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
ピグメントグリーン 7	銅及びその化合物	該当	該当	該当
石油精製軽質パラフィン	鉱油	該当	該当	該当
m-キシレン- α , α' -ジアミン	メターキシリレンジアミン	該当	該当	該当
p-tert-ブチルフェノール	4-tert-ブチルフェノール	適用しない	該当	該当
ホワイトミネラルオイル（石油）	鉱油	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
p-tert-ブチルフェノール	4-tert-ブチルフェノール	368	第2種指定化学物質

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
m-キシレン- α , α' -ジアミン	3-(アミノメチル)ベンジルアミン	劇物

16. その他の情報

改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.

セクション 3：成分表 情報修正.

セクション 8：作業環境許容値 情報修正.

セクション 8：OEL登録機関の説明 情報修正.

セクション 8：保護具 - 高温危険性 情報修正.

セクション 9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報の削除.

セクション 9：引火性情報 情報の追加.

セクション 9：動粘度情報 情報の追加.

セクション 9：粒子特性 適用しない 情報の追加.

セクション 9：粘度 情報の削除.

セクション 11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.

セクション 11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.

セクション 11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.

セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正.

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正.

セクション 15：労働安全衛生法の表 情報修正.

セクション 15：毒物及び劇物取締法の表 情報修正.

セクション 15：化管法の表 情報修正.

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	33-7367-7	版	3.00
発行日	2024/08/06	前発行日	2023/10/12

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] スコッチコート[™]部分補修塗料 323+ ブラシグレード パート A

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

コーティング

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 B

皮膚感作性： 区分 1

発がん性： 区分 2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 2

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符 健康有害性 環境

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H320	眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き**安全対策**

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ ピクロルヒドリンポリマー（ビスフェ	25068-38-6	58

ノールA型エポキシ樹脂)		
ナフリンシナイト	37244-96-5	10 - 20
タルク	14807-96-6	10 - 20
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	5 - 10
酸化チタン(IV)	13463-67-7	1.9
ホワイトミネラルオイル(石油)	8042-47-5	0.53
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	0.18

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気的环境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

アルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

塩化水素
 刺激性蒸気あるいはガス
 アンモニア
 窒素酸化物

燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。

保管

熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA (吸入性ナノ粒子) : 0.2 mg/m ³ ; TWA (吸入性微粒子) : 2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン (IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (推奨) (8時間) : 0.3mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 2 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (推奨) (8時間) : 4 mg/m ³	
鉍物油、高精製油	64741-89-5	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	64741-89-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	64741-89-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。熱処理オーブンの排気は屋外又は排気設備に放出すること。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	白色
臭い	ややエポキシ臭
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 93.3 °C
引火点	引火点>93°C
蒸発速度	データはない。
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	1.3 Pa [試験方法：計算値] [詳細：25°C。ラウールの法則による。]
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.4 kg/l
比重	1.43 [参照基準：水=1]
溶解度	データはない。
溶解度（水以外）	なし。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。

分解温度	データはない。
動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	0 g/l [試験方法：EPA試験方法 2 4による] [詳細：Part AとPart Bの混合物として。]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

表中でアスタリスク()を付した値は、原材料と特定の製品のテスト結果から得た代表値である。また粒子径の変化を含む物質の特性は、加工施設での工程や設備条件、あるいは他の物質との混合などによって変化する可能性がある。

物質の詳細な特性を得るために、使用施設における各種要因に配慮した特性評価試験を行なうことを推奨する。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

強酸

還元剤

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション 5 の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激： 局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

中程度の眼の刺激： 発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエポキシ樹脂 リマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエポキシ樹脂 リマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ナフリンシナイト	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ナフリンシナイト	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
カシューナッツ殻液・エポキシ樹脂共重合体	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
カシューナッツ殻液・エポキシ樹脂共重合体	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵 /ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル（石油）	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油精製軽質パラフィン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg

石油精製軽質パラフィン	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 4 mg/l
石油精製軽質パラフィン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ウサギ	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
ナフリンシナイト	専門家による判断	刺激性なし
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	In vitro data	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	ウサギ	刺激性なし
石油精製軽質パラフィン	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ウサギ	中程度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
ナフリンシナイト	専門家による判断	軽度の刺激
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	In vitro data	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	ウサギ	軽度の刺激
石油精製軽質パラフィン	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ヒト及び動物	感作性あり
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	モルモット	感作性あり
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ホワイトミネラルオイル（石油）	モルモット	区分に該当しない。
石油精製軽質パラフィン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ヒト	区分に該当しない。

タルク	ヒト	区分に該当しない。
-----	----	-----------

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	In vivo	変異原性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	In vitro	変異原性なし
石油精製軽質パラフィン	In vivo	変異原性なし
石油精製軽質パラフィン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
ホワイトミネラルオイル（石油）	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
石油精製軽質パラフィン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	48 日

カシューナッツ殻液・エピクロヒドリン共重合体	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 62.5 mg/kg/日	授乳期早期交配
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	聴覚系 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 眼 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m ³	113 週
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	経口摂取	消化管	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 62.5 mg/kg/day	90 日
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	経口摂取	内分泌系 造血器系 腎臓および膀胱 心臓 皮膚 肝臓 免疫システム 筋肉 神経系 眼 呼吸器系 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	肝臓 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
石油精製軽質パラフィン	皮膚	造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	3 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
ホワイトミネラルオイル（石油）	誤えん有害性
石油精製軽質パラフィン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ナフリンシナイト	37244-96-5	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	液状化	実験	3 時間	EC50	1,000 mg/l
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>100 mg/l
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	>100 mg/l

カシューナツツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
カシューナツツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	液状化	推定値	3 時間	IC50	>100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>11 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.8 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
4,4'-イソプロ	25068-38-6	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.3 mg/l

ロピリデンジ フェノールエ ピクロルヒド リンポリマー (ビスフェノ ールA型エポ キシ樹脂)						
石油精製軽質 パラフィン	64741-89-5	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
石油精製軽質 パラフィン	64741-89-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
ホワイトミネ ラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウ ンド	48 時間	EL50	>100 mg/l
ホワイトミネ ラルオイル (石油)	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
ホワイトミネ ラルオイル (石油)	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウ ンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
ホワイトミネ ラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウ ンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ナフリンシナ イト	37244-96-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
カシューナツ ツ殻液・エピ クロルヒドリ ン共重合体	68413-24-1	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	25.6 CO2発生 量/理論CO2発 生量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
4,4'-イソブ ロピリデンジ フェノールエ	25068-38-6	推定値 生分 解性	28 日	生物学的酸素 要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F

ピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)						
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	推定値 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t 1/2)	
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	22 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ナフリンシナイト	37244-96-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
カシューナッツ殻液・エピクロルヒドリン共重合体	68413-24-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
石油精製軽質	64741-89-5	分類にデー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

パラフィン		タが利用できない、あるいは不足している。				
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達 基発第 312 号の 3 の別添 1「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第182号の2

消防法：第四類第三石油類

船舶安全法、航空法：有害性物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ ピクロルヒドリンポリマー（ビスフェ ノールA型エポキシ樹脂）	4,4'-イソプロピリデンジフェ ノールと1-クロロ-2,3-エポキシ シプロパンの重縮合物（液状の ものに限る）	適用しない	該当	該当
石油精製軽質パラフィン	鉱油	該当	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当
ホワイトミネラルオイル（石油）	鉱油	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション3：成分表 情報修正.

セクション8：作業環境許容値 情報修正.

セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.

セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報の削除.

セクション9：引火性情報 情報の追加.

セクション9：動粘度情報 情報の追加.

セクション9：色 情報修正.

セクション9：粒子特性 適用しない 情報の追加.

セクション9：粘度 情報の削除.

セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.

セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.

セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.

セクション15：労働安全衛生法の表 情報修正.

セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。